

金沢には、清らかな流れや緑繁る自然、継承された文化と新しい文化、伝統産業と高次化や先端化が進む産業、そして人間味あふれる近隣地域社会意識など、創造性に富み、個性豊かな魅力ある都市、活気あふれる都市として、未来に向かって発展していくための多くの礎がある。

これらの貴重な基盤を生かしつつ、市民が主体となって、市民のための豊かな人間環境を築きあげ、新たな都市の活力を創出し、金沢という都市が国際的文化産業都市として発展するために努めることを、この構想の基本とする。

### 1 市民主体

金沢市民は、未来に対する展望を絶えず持ちながら、日常生活の中で、市民としての役割を自覚し、主体的に、また創意をこらして、その役割に向かって行動することが必要である。

そのため、金沢の自然や文化に培われた近隣地域での活動の助長を図り、市民の活動の場を広げ、深めて、地域社会を活性化させるとともに、地域の人々が行政や市民相互間の意見の調整を図りながら、自らのまちのあるべき姿を描き、市民のための市民によるまちづくりを推進する。

### 2 豊かな人間環境の構築

恵まれた自然環境、歴史に育まれた文化的環境や人情豊かな近隣連帯意識など、豊かな人間環境を築きあげるための数多くの素地のもとに、適正な人口規模を配置し、人間と自然とが調和し、

健康で幸せに生活できるまち

安全でやすらぎのあるまち

快適で潤いのあるまち

利便で住みよいまち

と都市を形成するための四つの柱を連携した総合的な基盤づくりを推進する。

また、市民の豊かなくらしの実現、すなわち、生まれ、育ち、学び、働き、憩い、豊かな老後を楽しむ、そうした生涯に市民自らが誇り得るまちの実現を図る。

さらに、市民一人ひとりが生涯を通じて、個性や能力を伸ばし、生きがいのある充実した生活を送るうえで、教育は、重要な役割を担っている。

そのため、生涯の各時期において、家庭、学校、社会を通じ、学習の機会を広め、こころ豊かな人間性を育む環境を築きあげる。

### 3 国際的文化産業都市

金沢の優れた特性の一つは、歴史の重みと文化都市としての伝統が都市形態と市民意識において、生活文化として息づいていることである。

この特性を継承し、発展させることにより、国内はもとより国外にも通ずる個性に満ちた、魅力ある都市の創造を推進する。

また、豊かな山河や海洋、農用地や山林地での農林漁業、受け継がれた伝統産業、集積された学術、管理機能等都市圏域を越えた諸活動を増進させるためにも、新しい産業の誘発や新たな時代に対応できる産業基盤の整備を促進する。

さらに、金沢に継承されている文化や産業活動、細やかな人情、恵まれた自然環境など優れた特性を活用して、まちに新たな活力を導きだすための数多くの都市活動を展開させ、国際的な文化産業都市を築きあげる。